

「第4回日本TRIZシンポジウム」の一般発表の募集について
兼 最終原稿の提出要領

2008年2月20日 [微修正: 2008. 3.18] [修正: 2008. 6.13]

NPO法人 日本TRIZ協会

第4回日本TRIZシンポジウム

プログラム委員長 中川 徹 (大阪学院大学)

創造的な技術革新の技法「TRIZ」について、広く発表・討論・交流するために、NPO法人日本TRIZ協会が主催して、第4回日本TRIZシンポジウムを開催いたします。つきましては、一般発表を下記のように公募いたしますので、どうぞ積極的にご応募くださいますようお願いいたします。

[注: 青字の部分は、昨年度のやり方から変更している部分、または特記部分です。ご注意ください。]

このたび、(招待発表 4 件の他に) 一般発表 48 件 (うち、国内 34 件、海外 14 件) を受理いたしました。昨年度の (招待発表 7 件の他に) 一般発表 30 件 (国内 21 件、海外 9 件) に比べて大幅な増加です。充実したシンポジウムにするべく努力しておりますが、事務局のキャパシティを超える部分ができており、皆さまのご寛容とご協力をお願いいたします。

下記に、発表者の方に最終原稿を提出していただく要領を記述しております (追記・改訂部分は赤字)。本案内に従って最終原稿を提出いただき、発表のご用意をいただきたくお願いいたします。[2008. 6.13]

記

1. 第4回日本TRIZシンポジウム 2008 の概要

日時: 2008年 9月10日(水) ~ 12日(金) (3日間)

9月10日(水) 10:00 開会、9月12日(金) ~~15:30~~ 16:20 閉会 [2008. 6. 4]

会場: ラフォーレ琵琶湖 (滋賀県守山市今浜町、JR 湖西線堅田駅より送迎バス 10 分)

Web サイト: <http://www.laforet.co.jp/lfhotels/biw/>

主催: NPO法人 日本TRIZ協会 (理事長: 林 利弘 (林技術士事務所))

公式 Web サイト: <http://www.triz-japan.org/>

[なお、日本 TRIZ 協議会公式ページ (『TRIZ ホームページ』内) もご覧下さい。

<http://www.osaka-gu.ac.jp/php/nakagawa/TRIZ/>] (2008. 3.18)

- 目的:
- ・ 創造的な技術革新の技法「TRIZ」とその関連分野での発表・討論・交流の場を提供する。
 - ・ TRIZ に関して、その技術レベルの向上と普及・推進・適用のしかたの向上に資する。
 - ・ 日本と世界の TRIZ 関係者の交流を図り、TRIZ の理解と普及を促進する。

ねらい: ・ 発表および参加を広く (国内・海外から) 公募し、公開の会とする。

- TRIZ のより深く広い理解を作るとともに、企業や大学などにおける実践を推進する。
- 基本的には国内向け(全国的)であるが、部分的に(できるだけ多く) 国際的なものにする。
[注: この基本的性格は前年度と同じですが、その運用のしかたを微小調整しています。]
- 会期中にNPO法人 日本TRIZ協会の総会を開く。

重点テーマ: **主題: TRIZ の新しい展開を目指して** [追加: 2008. 6. 4]

- (1) TRIZ の技法の発展とその技術課題適用事例
- (2) TRIZ の適用と推進のしかた、特に技術開発全体の中で捉えて
- (3) 日本および世界における TRIZ 推進の状況

公式言語: 日本語 および 英語

オーラルの発表は、和文と英文のスライドを並行投影することを原則にする。

ただし、一部に日本語だけのセッションもある。

発表には通訳(同時通訳/逐次通訳)なし。討論は通訳サポートあり。

[注: 討論の通訳サポートは事務局のボランティアベースでやってきましたが、今回はキャパシティを超える状況です。発表者・参加者の皆さまからの通訳サポートのボランティアを募ります。] [追加 2008. 6. 4]

Proceedings は、日本人向けの原語優先・和訳版と、
海外参加者向けの英語版 とを印刷し、当日配布する。

[注: 前年度は「オーラル発表は和英同時投影」を完全に実施しました。

しかし、スライドの英訳が日本人著者にとって負担であり、英訳支援した事務局の負担も大きかったという反省から、今年度は一部に(和英同時投影をしない)日本語だけのオーラルセッションを設けることにしました。

これにより、国内からの発表が増えるものと期待しております。

ただ、海外参加者からは、和英同時投影、ポスター発表のスライド英訳、および Proceedings での英文表記など、英訳をさらに拡大する方向での要請があります。海外発表者、参加者の受け入れは日本の TRIZ の発展に大いに有益ですので、海外参加者にも、有益・満足な TRIZ シンポジウムにせねばなりません。

そこで、日本人著者は英文 Abstract の提出を Must とします(推敲支援あり)。

また、オーラル発表、ポスター発表とも、最低限 2~4 枚のスライドを必ず英訳し、紹介/投影して、Proceedings に掲載します。(英訳支援・推敲支援あり)

また、シングルセッションの部分は必ず和英同時投影にし、パラレルセッションの場合にはそのうちの少なくとも一つは和英同時投影にする方針です。

なお、英訳は海外の人たちにも知って貰えるよい機会ですので、ぜひ多くの著者が全スライドの和英同時投影にご協力いただけますようお願いいたします。

事務局はできる範囲で精一杯の英訳支援・英訳推敲支援をいたします。]

[注: ここの記述はそのまま該当します。ただ、事務局のキャパシティを超える部分は不可能ですので、予めご了解下さい。また、繰り返しになりますが、海外発表者のスライドを和訳して下さる方、および、国内発表者のスライドを英訳することを支援して下さるボランティアの方を求めています。ぜひ、ご協力下さい。]

一般発表の発表形態:

オーラル発表: 基本発表時間: 発表 30 分 + 質疑応答 10 分。

シングルトラック (1 会場) または ダブルトラック(2 会場並行)

[注: 一般発表を全件ダブルトラックにいたします。][2008. 6. 4]

ポスター発表:

会場内のコーナーに分散して、複数同時並行で掲示・発表する。
比較的少人数での自由な質疑応答可能。

全日程掲出の予定。各セッションの時間は **65 分**程度。[前に紹介 **30 分**程度]

[注: **ポスター紹介+ポスター発表** で合計 **100 分**の予定です] [2008. 6.4]

2. 一般発表 (オーラル発表とポスター発表を含む) の募集テーマ

テーマ: 上記のシンポジウムの趣旨に沿った、オリジナルな研究・活動報告。

つぎのような範囲で考えて下さい (この他にもあれば検討します)。

特に、実地の適用事例・活動事例に基づいた発表をお願いします。

技法など	適用目的	適用分野	適用場面
TRIZ、 TRIZからの派生・発展、 創造性技法、 アイデア生成法、 問題抽出技法、 問題解決技法、 将来予測技法、 技術革新技法・運動、 技術管理、知識管理、 研究開発技法、 特許生成・特許分析、 技術の実装技法、 問題解決支援システム、 日本独自の諸方法 など	技術予測・市場予測、 問題抽出、 商品企画開発、 技術課題の解決、 技術コンセプトの生成、 品質向上、 コスト・納期削減、 エコシステム、 特許発掘・特許強化、 ビジネスモデルの創成、 技法の検証、 創造性教育・訓練 など	一般技術分野 機械・機構系、 電気・電子系、 システム系、 ソフトウェア系、 材料系、 化学系、 生物系、 ビジネス系、 社会問題、 身近な問題 など	大学等教育、 技術者教育、 普及・啓蒙、 適用試行、 グループ活動、 実地適用、 推進組織化、 推進活動、 R&D 全般、 管理者教育、 中小企業普及、 初等中等教育 など

3. 一般発表の申込み手続きについて (オーラル発表とポスター発表ともに、すべて共通)

3.1 申込みに際して提出すべきもの

電子メールにて、下記の書式 3 件を提出下さい。

0. 申込みメール: 「発表申込み」をサブジェクトに明記し、下記の 3 件の書式を添付下さい。

A. 発表申込み書: 書式 A による。MS Word 2000/2003。テンプレートを **Web** に掲載済み。

発表題目、著者 (所属)、著者代表連絡先、

希望発表形態 (一般発表のみ、一般発表優先、ポスター発表優先、ポスター発表のみ)。

英訳作成型態 (自分/自社で英訳、事務局の推敲支援希望、事務局の英訳支援希望、

日本語セッション希望 (英訳は紹介スライドを事務局支援))

B. 和文概要: 書式 B による。MS Word 2000/2003。テンプレートを **Web** に掲載済み。

発表題目、著者 (所属) (共著者を含む)、

200 字程度の概要、説明文 (図表も可)、全体で A4 の 1 頁。

(注: 題目・著者・概要は事前プログラムに掲載する。

説明文は (この時点では) プログラムの審査・編成に用いる。)

C. 英文概要: 書式 C による。MS Word 2000/2003。テンプレートを Web に掲載ずみ。

英文の発表題目、著者 (所属) (共著者を含む)、英文概要。全体で A4 半頁。

(注: 英文での事前プログラムに掲載する。)

3.2 発表に関する著作権の扱いについて

(再度ご確認ください [2008. 6. 4])

前提事項: 発表申込みおよび発表資料の提出時点において、発表者はその内容が他者の著作権などを侵害していないことを確認し、また社内の発表許可などを経ているものとします。

発表時期: 発表資料の公表時点はシンポジウム初日 9 月 10 日とします。

著作権: 発表資料の著作権は、著作者本人にあるものとします。

よって、著者は T R I Z シンポジウムの後に、自分が適当と考える方法で、他に投稿・発表などができます。

著作権の譲渡: 発表者は、以下の事項に対して「NPO 法人日本 T R I Z 協会」に、非排他的な権利を譲渡するものとします。

- ・ 「第 4 回日本 T R I Z シンポジウム」での当日配布資料に印刷し、配布すること。
- ・ また、その資料の複製を後日配布・販売すること。
- ・ 日本 T R I Z 協会が適切と考える Web サイト (複数可) で後日公開あるいは限定開示すること。

[注: この項目は前年度と同じです。ただし、実際に開示する前に、主催者が再度著者に許可確認を得るようしており、著者の要請により一部または全部を非開示にする場合もあります。]

- ・ 発表状況の (主催者による) スナップ写真撮影を許可し、それらを日本 T R I Z 協会が適切と考える方法で、掲載、配布、案内資料などに使うこと。

[注: 主催者指定の者以外 (一般参加者など) による、投影画面の撮影を禁止します。また、録音も禁止します。これらは発表者の自由な発表を守る処置です。] [2008. 6. 4]

3.3 発表申込みの提出

提出・問い合わせ先: プログラム委員長: 中川 徹 (大阪学院大学)

送付方法: 電子メールで文書添付 (MS Word)

宛て先: 電子メールアドレス: sympo@triz-japan.org [訂正: 2008. 3.18]

申込み締め切り: 2008 年 5 月 15 日 (木) 18:00 [締め切り済みです] [2008. 6. 4]

4. プログラムの決定と著者への通知 (本項、6 月 11 日付けで決定・通知・公表しました [2008. 6.13])

採否決定: 発表の採否とプログラム案の決定は、
5月下旬に日本TRIZ協会プログラム委員会および同運営会議にて行います。

オーラル発表とポスター発表の別は、申込み時の希望を考慮しつつ、
プログラム委員会で調整・決定いたします。
申込み時の第一希望とは異なる場合もありますが、ご了承下さい。

発表申込みについて、不採用の判断をする場合もあります。

著者への通知: 発表の採否およびプログラム案を、6月6日頃に通知します。
採用された著者は指示に従って、原稿を次項のように準備下さい。

なお、スライドの英訳のやり方については、個別に連絡し、調整・支援いたします。

プログラムの発表: 編成したプログラム案をTRIZ協会の公式ホームページ他に掲載し、
参加者募集を行います。和文と英文を同時掲載します。

この段階で、発表の題名、著者(所属)、概要を公表します。
(和文概要につけた説明文の部分は、この段階では公表しません。)

5. 発表の形態と Proceedings 作成の計画について (最終原稿提出のための予備知識)

詳細の一覧表は別紙を参照下さい。 **(本項、変更なし [2008. 6. 4])**

5.1 オーラル発表の実施形態 **(本項、変更なし [2008. 6. 4])**

- ・ 発表は、日本人の場合には標準的に日本語 (海外参加者の発表は英語)。
- ・ スライドを日英同時投影するセッションと、日本語投影だけのセッションとがある。
海外参加者の発表は、英語スライドに並行して、和訳スライドを投影する。
日本人の発表では、日本語スライドに並行して、英訳スライドを投影するセッションと、
日本語スライドだけのセッション [注参照] とがある。
並行投影の場合には、日本語スライドを発表者が操作し、英訳スライドは追隨して事務局
が操作する。
[注: 日本語スライドだけのセッションのオーラル発表でも、著者が2~4枚のスライド
(「紹介スライド」と呼ぶ)を指定し、英訳版を Proceedings に掲載する。]
- ・ 発表自体の通訳は行わない。(日本語発表、英語発表とも)
討論については、スライドの日英同時投影のセッションに限り、双方向に逐次通訳する。
- ・ 発表 30分 + 討論 10分とする。

5.2 ポスター発表の実施形態 **(本項、微小変更 [2008. 6. 4])**

(a) ポスターの掲出作業

- ・ 各自に模造紙 2枚 (縦型で横に並べる) のスペースが与えられる。
これを会場内の指定された壁面または移動式パネルなどに貼り出す。
- ・ 和文と英文の両方でポスターを掲示する場合には、最大 4枚分のスペースとする。
- ・ この模造紙スペースに、各自がプリントしてきたスライドを貼り出す。

B4(または A4) にプリントしたスライドは 8 枚/模造紙 貼れる。十分大きな字にすること。

- ・ 掲出は基本的に初日午前中に各自が作業して行い、全日程掲出しておく。
模造紙、セロテープ、マジックインキなどは事務局が用意する。

(b) 「ポスターセッションの紹介」セッションでの発表

- ・ 各ポスターセッションに対して、その「紹介」セッションを持ち、全体会場で話す。
- ・ 紹介セッションでは、各自 ~~2~3~~ 3 分間で簡単な紹介を行う。(全体で ~~20~~ 30 分の予定)
- ・ この紹介では、スライド 2~4 枚(だけ)を使う。和文・英文スライドを同時投影する。

(c) ポスターセッションでの発表と討論

- ・ 発表者は各自指定された壁面/場所で、ポスターの説明を行う。複数件の同時並行。
- ・ 参加者は、それぞれに選択したポスターを順次訪問する。
- ・ 全体時間は ~~80~~ 65 分(程度)。

初回の説明と討論を 20 分で一斉に区切り、2 回目の説明を開始する。

それ以降は臨機応変で随時に発表と討論を行う。[注: この詳細は後日連絡する。]

- ・ 比較的少人数でのインタラクティブな発表と討論を行うことが趣旨である。

5.3 スライドなどの翻訳作業について

(本項、微修正 [2008. 6. 4])

- ・ 論文の概要については、著者自身が英訳したものを提出してください。
注: 著者の提出したものに対して、事務局から推敲の助言・支援をすることがあります。
- ・ 和英同時投影のオーラル発表の全スライド、日本語セッションオーラル発表の紹介スライド (2~4 枚) およびポスター紹介のスライド (2~4 枚) は、できるだけ著者が英訳下さい。
英訳が困難なときには、著者の申し出に基づき、事務局が英訳を支援します。
- ・ ポスター発表のスライドも、できるだけ著者が英訳くださるようお願いいたします。
英訳が困難なときには、提出なしで結構です。事務局は英訳を支援できません。
- ・ 日本語セッションオーラル発表の場合には、発表スライド全体を英訳することは不要です。
紹介スライド(2~4 枚) (日本語版) を著者が指定下さい。これは発表スライドから選択したものでかまいませんし、調整しなおしたものでかまいません。
これらを事務局が英訳支援し、英語版 Proceedings (詳細版) に掲載します。

発表申込み時の希望調査の結果、英訳支援あるいは英訳推敲支援の希望が多く、事務局の
キャパシティを越えることがわかりました。

そこで、英訳支援/英訳推敲支援に関してはつぎのようにお願いいたします。

TRIZ のベンダー/コンサルティング側の発表者は、自社で英訳し、提出下さい。

TRIZ のユーザ側の発表者でも、大企業に属する方は、自社で英訳し、提出下さい。

これらに該当せず、発表の事務局英訳を希望する方は、予め事務局に要請下さい。

なお、提出した英訳の推敲支援を希望される方は、予め事務局に要請下さい。

[2008. 6. 4]

なお、英和スライド同時投影にするか、和文スライドだけの投影にするかは、発表申込みの
段階で希望をお聞きしています。できるだけその希望に沿った形で実現したいと考えます
が、上記の事情がありますので、特に英和スライド同時投影を選択し、英訳推敲支援を希
望されます場合には、予め事務局と連絡を取って調整いただきたく、お願いします。

[2008. 6. 9]

- ・ 海外参加者のオーラル発表のスライド、ポスター紹介のスライドは、事務局が和訳します。
海外参加者のポスター発表の掲示スライドは、事務局では和訳支援をしません。

[注: 海外発表者のスライド和訳をして下さるボランティアを求めています。また、
国内発表者のスライドを英訳して下さるボランティアを求めています。]

[2008. 6. 4]

5.4 印刷配布物（概要版および詳細版の Proceedings）

（本項、変更なし [2008. 6. 4]

下記の 4 種の印刷物を作成し、シンポジウム初日に参加者に配布する。

記載項目の詳細は、別紙の一覧表を参照のこと。

(A) 日本人向け 概要版: 日本人発表の和文概要 + 海外参加者発表の 英文概要

(B) 海外参加者向け 概要版: 日本人発表の英訳概要 + 海外参加者発表の 英文概要

(C) 日本人向け 詳細版: 日本人発表の 和文スライドまたは和文論文（著者が一方を選択）
海外参加者発表の 英文スライドまたは英文論文（著者が一方を選択）と
和訳スライド

(D) 海外参加者向け 詳細版: 日本人発表の 英訳スライドまたは英文論文（著者が一方を選択）
または 英訳のポスター紹介スライド
海外参加者発表の 英文スライドまたは英文論文（著者が一方を選択）

6. 最終原稿の提出について

6 月初旬のプログラム決定の後、以下の要領で最終原稿を提出下さい。（詳細は後日指定）

（本項の詳細を修正・追記しました [2008. 6. 4]

6.1 最終原稿の提出物（オーラル発表の場合）

0. 提出電子メール（必須）: 「最終原稿提出」の趣旨を明記し、下記必要ファイルを添付下さい。

A. 最終原稿提出書（必須）: 書式 A2 による。（発表申込み時の書式 A を修正して、掲載しました。）
発表題目、著者（所属）、著者代表連絡先、発表形態、英訳形態、送付ファイル一覧。

B. 和文概要（必須）: 書式 B による。MS Word 2000/2003。書式テンプレートを Web 掲載済み。
発表題目、著者（所属）（共著者を含む）、
200 字程度の概要、説明文（図表も可）、全体で A4 の 1 頁。[書式微細修正 (2008. 6. 9)]
（注: この全体を Proceedings 概要版（日本人向け）に印刷する。）

C. 英文概要（必須）: 書式 C による。MS Word 2000/2003。書式テンプレートを Web 掲載済み。
英文の発表題目、著者（所属）（共著者を含む）、英文概要、説明文（全体で A4 1 頁）。
（注: 説明文はなくてもよい。 [書式微細修正 (2008. 6. 9)]
この全体を Proceedings 概要版（海外参加者向け）に印刷する。）

D. 和文スライド (必須): 書式指定なし。最大 32 枚。MS PowerPoint 2000/2003
当日の発表に使い、また、Proceedings 詳細版 (日本人向け) に印刷する。

E. 英訳スライド (必須):

和英同時投影セッションのとき: 全スライドの英訳版。当日の発表で同時投影。
日本語セッションのとき: 紹介スライド (2~4 枚) の英訳版 [和文スライドの中から選択したものでよいし、適当に統合・調整したものでよい。]
Proceedings 詳細版 (海外参加者向け) に印刷。
著者が英訳困難な場合には、著者の申し出に基づき、事務局が英訳支援する。

F. 和文論文 (随意): 書式 F による。A4 2 段組 最大 8 ページ。MS Word 2000/2003。
(Proceedings 詳細版 (日本人向け) に、和文スライドと和文論文のどちらを掲載するかを著者が選択・指定する。) (書式テンプレートを Web **掲載済み**) [2008. 6.]

G. 英文論文 (随意): 書式 G による。A4 2 段組、最大 10 ページ。MS Word 2000/2003。
(Proceedings 詳細版 (海外参加者向け) に、英文スライドと英文論文のどちらを掲載するかを著者が選択・指定する。) (書式テンプレートを Web **掲載済み**) [2008. 6. 9]

6.2 最終原稿の提出物 (ポスター発表の場合)

0. 提出電子メール (必須): 「最終原稿提出」の旨を明記し、下記必要ファイルを添付下さい。

A. 最終原稿提出書: 書式 A3 による。(発表申込み時の書式 A を修正して、**掲載しました。**)
発表題目、著者 (所属)、著者代表連絡先、発表形態、**英訳形態**、送付ファイル一覧。

B. 和文概要 (必須): 書式 B による。MS Word 2000/2003。 書式テンプレートを Web 掲載済み。
発表題目、著者 (所属) (共著者を含む)、
200 字程度の概要、説明文 (図表も可)、全体で A4 の 1 頁。
(注: この全体を Proceedings 概要版 (日本人向け) に印刷する。)

C. 英文概要 (必須): 書式 C による。MS Word 2000/2003。 書式テンプレートを Web 掲載済み。
英文の発表題目、著者 (所属) (共著者を含む)、英文概要、説明文 (全体で A4 1 頁)。
(注: **説明文はなくてもよい。**
この全体を Proceedings 概要版 (海外参加者向け) に印刷する。)

D. 和文ポスタースライド (必須): 書式指定なし。最大 16 枚。MS PowerPoint 2000/2003
当日の掲示発表に使い、また、Proceedings 詳細版 (日本人向け) に印刷する。

E. 英訳スライド (随意): 上記 D の英訳版。
当日の掲示発表で使うことができる。Proceedings 詳細版 (海外参加者向け) に印刷。
著者が英訳困難な場合には、提出なしで結構です。事務局の英訳支援はしない。

D2. 和文ポスター紹介スライド (必須): 書式指定なし。 2~4 枚。
ポスター紹介セッションでの発表に使う。

上記 D の和文ポスタースライドの中の 2~4 枚でもよい (別途作ってもよい)。

E2. 英訳ポスター紹介スライド(必須): 上記 D2 の英訳版。2~4 枚。

ポスター紹介セッションでの発表の際に同時投影する。

著者が英訳困難な場合には、申し出に基づき、事務局が英訳を支援する。

F. 和文論文 (随意): 書式 F による。A4 2 段組 最大 8 ページ。MS Word 2000/2003。

(Proceedings 詳細版 (日本人向け) に、和文スライドと和文論文のどちらを掲載するかを著者が選択・指定する。) (書式テンプレートを Web **掲載済み**)

G. 英文論文 (随意): 書式 G による。A4 2 段組、最大 10 ページ。MS Word 2000/2003。

(Proceedings 詳細版 (海外参加者向け) に、英文スライドと英文論文のどちらを掲載するかを著者が選択・指定する。) (書式テンプレートを Web **掲載済み**)

6.3 最終原稿の提出方法と締切

提出・問い合わせ先: プログラム委員長: 中川 徹 (大阪学院大学)

送付方法: 電子メールで文書添付 (MS Word または MS PowerPoint)

宛て先: 電子メールアドレス: sympo@triz-japan.org [訂正: 2008. 3.18]

締め切り: **7 月 28 日 (月) 18:00**

(提出メール 0、最終原稿提出書 **A2 or A3**、 [2008. 6. 4]
和文概要 B、英文概要 C、和文スライド D、D2、和文論文 F)

注: 英訳スライド E、E2、英文論文 G の締切は、8 月 4 日 (月) 18:00 まで猶予。

お願い: 皆さまの最終原稿の提出後に、事務局では翻訳作業・編集作業など多くの作業を極めて短期間で行う必要がありますので、上記の締切日をぜひ厳守下さい。

参加登録: 発表者の参加登録の締切日は、**7 月 28 日 (月) 18:00** です。

(一般参加者の参加登録の締切は **8 月 25 日 (月) 10:00** です。) [2008. 6.13]

注意: 以下の場合には、プログラム委員会は、その発表申込みが取り下げられたものと判断し、その発表をプログラムから削除し、Proceedings への掲載を取りやめることがあります。ご承知おき下さい。

- ・ 最終原稿が締切日までに提出されなかった場合、
- ・ 参加登録が締切日までに行われなかった場合、
- ・ シンポジウム当日に著者 (または共著者) が出席・発表できないことが明らかなる場合。

お願い: スライドの作成においては、一般的な注意事項 (大きな文字で、一枚に詰め過ぎない、背景無しのモノクロ印刷でも明瞭なこと) に加えて、海外参加者への配慮をお願いします。英訳スライドを投影していますが、「しゃべり」の部分での内容は海外参加者は理解できないので、スライドだけでも分かるように配慮下さい。

[2008. 6. 4]

7. シンポジウム当日の発表スライドとポスタースライドについて **(本項、変更なし [2008. 6. 4])**

7.1 オーラル発表

- ・事務局が、和文スライド投影用パソコンと、英文スライド投影用パソコンを用意します。
(Windows XP、MS Office 2003 搭載)
発表に特別なソフト (動画投影など) を使ったデモなどを行う場合には、発表者がパソコンを持参下さい。この場合に、デモ部分だけは和英同時投影できないことがあります。
- ・発表に使う PowerPoint ファイルを USB メモリなどで持参下さい。
発表当日の朝に各自のファイルを事務局のパソコンにインストール下さい。
事務局では念のために、著者が印刷用に提出したファイルを投影可能なように準備します。
- ・発表の(ごく) 一部を印刷しないことを、認めます。
ただし、これは一部の例外的な処置であることをご承知下さい。
(注: 提出された最終原稿はすべて印刷します。当日に一部追加のスライドを持参下さい。
なお、最終原稿の段階で大幅に伏せられているものは受理できません。)

7.2 ポスター発表の場合

(a) ポスター紹介の発表

- ・事務局が、和文スライド投影用パソコンと、英文スライド投影用パソコンを用意します。
- ・ポスター紹介用のスライドは、最終原稿の提出時に提出したものを使います。
事務局が予め用意しておき、多数の発表者がスムーズに発表できるようにします。

(b) ポスター掲出用のプリント資料

- ・掲出するのに使うスライドのプリントを、当日必ず持参下さい。
- ・このプリントが、印刷用に提出したものと (ごく) 一部に異なることを認めます。
- ・プリント資料の準備とポスター掲出の作業については、5.2 節を参照下さい。

8. 準備組織と問い合わせ先

NPO法人 日本TRIZ協会: 理事長: 林 利弘 (林技術士事務所)

第4回日本 TRIZ シンポジウム 実行委員長: 三原 祐治 (創造性工学研究所)

同 実行委員 (事務局): 堀田 政利 (創造開発イニシアチブ)

同 会場組織委員: 水野 栄一 (エム・アール・アイリサーチアソシエイツ)

同 プログラム委員長: 中川 徹 (大阪学院大学)

同 プログラム副委員長: 小西 慶久 ()

同 プログラム委員 (兼ポスターセッション担当): 池田 和康 (積水エンジニアリング)

同 プログラム委員: 岡 建樹 (コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ)

同 海外参加者対応担当: 中川 徹 (大阪学院大学) 【協力者を求めています。】

問い合わせ用メールアドレス: [訂正: 2008. 3.18]

シンポジウム全体、参加登録関係: info@triz-japan.org

プログラムの発表関係: sympo@triz-japan.org

以上